

文 教 福 祉 常 任 委 員 会 記 録

令和6年9月2日（月）午後1時56分～午後1時59分（9階909会議室）

○出席委員（9名）

委 員 長	川又 康彦
副委員長	高木 直人
委 員	佐藤 勢
委 員	遠藤 幸一
委 員	佐々木 優
委 員	石原洋三郎
委 員	大平 洋人
委 員	穴戸 一照
委 員	半沢 正典

○欠席委員（なし）

○市長等部局出席者（なし）

○案 件

所管事務調査「認知症対策と家族支援に関する調査」

- 1 委員長報告について
- 2 その他

午後1時56分 開 議

（川又康彦委員長）ただいまから文教福祉常任委員会を開会いたします。

初めに、委員長報告についてを議題といたします。

まず、前回の委員会において、委員長報告案と意見書案を持ち帰りいたしました。

皆さんからその結果についてお伺いする確認の前に、事務局より委員長報告の一部語句の訂正について説明いたします。

（書記）説明させていただきます。

所管事務調査8月21日の会派確認用の委員長報告案をご覧ください。事務局から語句の訂正という

ことで報告させていただきます。委員長報告案の４ページの22行目の本市の実状であるという部分の実状というところでございますが、意見書案の２ページ、国への提言項目の３のところにあります実情に合わせた実情の情、情けという字に合わせて委員長報告案のほうも修正していることを報告いたします。当初委員長報告案のほうの本市の実状であるの状の字は状態の状を使用しておりましたが、福島市議会ではこのような場合は、こちらの実情のほうを用いておりますので、修正済みであることを報告させていただきます。

以上でございます。

(川又康彦委員長) よろしいですか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(川又康彦委員長) それでは、各会派の協議結果についてからご報告をお願いいたします。

真政会さんのほうはいかがですか。

(大平洋人委員) 内容については特に問題はなく、ご意見ありませんでした。お疲れさまでございました。

(川又康彦委員長) 真結の会さんは。

(穴戸一照委員) 問題ありません。

(川又康彦委員長) 市民21さんは。

(遠藤幸一委員) 問題ありません。

(川又康彦委員長) 日本共産党さんは。

(佐々木優委員) オーケーです。

(川又康彦委員長) 公明党さん。

(高木直人委員) 修正ございません。

(川又康彦委員長) それでは、修正のほう各会派の皆さんからございませんでした。

そうしまして、ほかにご意見がなければ、委員長報告、意見書につきましてはただいまの内容でよろしいでしょうか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(川又康彦委員長) それでは、そのようにまとめさせていただきます。

委員長報告についてはこれで終了いたします。

次に、その他、その他皆さんのほうから何かございましたらお願いいたします。

【「なし」と呼ぶ者あり】

(川又康彦委員長) ないようですので、以上で文教福祉常任委員会を閉会いたします。お疲れさまでした。

午後１時59分 散 会

文教福祉常任委員長

川 又 康 彦